

普及活動検討会実施報告書

大河原農業改良普及センター

実施月日：令和7年9月4日

実施場所：柴田町

1 検討内容

No	検 討 項 目
1	現地視察 プロジェクト課題 No. 4
2	「集落営農法人による農地整備を契機とした省力化技術の導入・定着」 検討会 ①令和7年度普及活動の概要について ②令和7年度プロジェクト課題の取組み状況について ・プロジェクト課題 No. 1 「経営継承後の農業法人におけるねぎ、うめの規模拡大と生産性向上」 ・プロジェクト課題 No. 4 「集落営農法人による農地整備を契機とした省力化技術の導入・定着」 ③総合検討

2 検討委員の構成

(単位：人)

区 分	人数	区 分	人数
先進的な農業者		生 活 者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	1
市 町 村	1	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
普及計画について	4.6	・市町担当やJAみやぎ仙南などの関係機関と連携し、合意形成の推進や地域農業の支援など、計画に基づき幅広く普及指導活動が行われており高く評価される。 ・農業、農村の課題やニーズを的確に捉えた計画となっており、RTK活用等の先進技術の普及推進等も図られている。 ・全国共通の課題である担い手不足の解消、付加価値による利益の確保、ブランド化等が促進されることを期待する。 ・仙南の豊かな地域特性を活かした活動計画で重点目標が具体的である。	普及センターでは、今後も、3つの重点活動項目の下、地域農業の活性化に向けて積極的に普及指導活動を推進してまいります。

検討項目 (プロジェクト課題 No. 1) 「経営継承後の農業法人におけるねぎ、うめの規模拡大と生産性向上」について	4.4	・農業法人における代替わりにより、若手経営者が今後増加すると思われるので、モデルケースとしての取組みが期待される。 ・作業時間の可視化や作業時期の分散、繁忙期の雇用体制の改善など今後の対応について十分整理できている。 ・法人の活動に活気が溢れ、今まで取り組んでこなかったことにも挑戦するようになり、事業の見える化も進んでいる。生産技術だけでなく、農業経営についても丁寧に指導に当たっており、成果につながることを期待する。 ・世代交代後の経験不足は、時には先輩をうまく活用して、生産性の向上につなげてほしい。	・ねぎについては、防除や追肥等の適期作業励行、育苗技術の向上に向けて現地指導を継続します。さらに今作の振り返りをもとに、作業スケジュールや適正な栽培面積の検討を行います。 ・うめは、定植に向けたほ場の準備を行いながら、成木の低樹高化や施肥方法の改善に向けて支援します。 ・法人に合った労務管理体制を検討するため、従業員の作業時間を可視化して労務配分を振り返り、作業時期の分散、繁忙期の雇用体制の改善等につなげます。
検討項目 (プロジェクト課題 No. 4) 「集落営農法人による農地整備を契機とした省力化技術の導入・定着」について	4.4	・今後、農地整備によりこのような農業法人が増えることが予想されるので、さらなる先進技術、省力化技術の普及拡大に取り組んで頂きたい。 ・今後の対応についても、新たな技術の導入や課題を整理する場を設けるなどの整理が十分にできていると思う。 ・ドローンや新しいアプリの導入などサポート体制がしっかりしている。 ・集落営農は、この先どの町でも出てくる課題に感じた。	・新たな技術に対する導入意欲は高いので、現在の栽培方法について課題整理し、次年度、導入する技術を検討します。 ・法人運営ルール見直しには専門家も活用しながら進めていく予定です。
その他		・新たな担い手育成について、市町や関係機関連携のもと伴走的に支援と指導をお願いしたい。また、直売所運営支援が行われているが、他の直売所についても支援をお願いしたい。 ・高収益作物の取り組みについて、当組合でさつまいもの作付け拡大のため、定植機、収穫機械のリース導入を検討しているので、次年度のプロジェクト課題への検討をお願いしたい。 ・担い手問題として異業種の定年退職者などと交流会を行ってみては？	・次年度の普及指導計画の作成に当たり、他の課題との関係など課題整理を行いながら検討してまいります。